

株式会社WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2019年4月18日開催分)

開催年月日： 2019年4月18日(木) 11:00~13:30

開催場所： 株式会社WOWOWプラス 会議室

委員の出席： 番組審議員 7名

WOWOW プラス 7名

出席者

[審議員] 池ノ辺直子、音好宏、草場滋、高寺成紀、富澤一誠、
村上典吏子、湯浅正敏

(以上 50 音順、敬称略)

[放送事業者] 牧野力、宮澤辰之、松田健吾、井田勇、高木慶、
池田綾香(記)、渋谷明子(記)

議題： (1) 2019年1月~3月のシネフィル WOWOW に対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について
(2) シネフィル WOWOW の番組内容、編成内容に関する審議

報告事項： 2019年1月~3月におけるシネフィル WOWOW に対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について、当社編成制作局長より、その件数や代表的な内容といった概要説明を行った。

審議事項： [審議番組] アカデミー賞特集 2019

<番組概要>

2019年1月22日(米国時間)のノミネート作品発表から2月24日(米国時間)の授賞式開催までの約1か月間、2チャンネル合計で100本のアカデミー受賞作を共同編成。WOWOWでは、近年の受賞作を中心に67作品を放送。シネフィルWOWOWでは、『カサブランカ』『おくりびと』等アカデミー賞史上に残る受賞作33作品を放送。

さらに、WOWOW、シネフィルWOWOW共通で、第91回アカデミー賞を楽しむ2つのオリジナル番組『第91回アカデミー賞 ノミネーション徹底紹介』(60分)、『第91回アカデミー賞 直前層予想』(60分)を放送。映画評論家・町山智浩をゲスト解説者として迎え、貴重なフッター映像とともに注目の映画の魅力をたっぷり紹介する。

審議内容： ■審議員意見

- ・オリジナル番組自体は面白いが、WOWOW と同じ番組を流してもメリットがないのではないかと。アカデミー賞の歴史・コアな部分を紹介するようなシネフィル WOWOW ならではの番組に期待したい。
- ・映画評論家・町山智浩氏の解説は勉強になった。『ローマ』が候補に上がった経緯など、もう少し深く知りたかった。
- ・観客の映画に対する興味は変化しており、賞の受賞や監督名などによって興行は左右されなくなっている。しかし、映画ファンにとっては興味を惹かれる内容なので、コアな映画ファンにどう伝えるかを考えて、アカデミー賞企画を続けて欲しい。
- ・WOWOW との連動編成は意義がある。オリジナル番組は、町山智浩氏という情報源、ジョン・カビラ、高島彩という進行役の組み合わせも良く、楽しめる。有料放送だし、アカデミー賞について知識のある人をターゲットに、説明しすぎない内容で良いのではないかと。
- ・皆が「どの賞を獲るのかな」とワクワクしていた時期が過ぎた時点で、「賞」の賞味期限は切れている。ただ、過去の受賞シーンを流すなど、懐かしさで楽しむのは一つの手。オリジナル番組は新聞・雑誌での紹介とさほど変わらないため、もっと徹底的に分析して欲しい。
- ・アカデミー賞は時代を映す鏡であり、年に一度のお祭り。祭りの楽しさを前面に出して紹介するとより良いのではないかと。オリジナル番組は、女性の衣装がしっかりと見えるようになっており、セットが良いと感じた。祭りを楽しむ上で、そのような演出は大事。

■審議員長総評

- ・価値の多様化により、アカデミー賞にかつてのような共有感はなくなってきたが、映画ファンがいなくなったわけではない。既存客・新規客のニーズをうまく取り込んで、続けて欲しい。

連絡事項： 次回番組審議会は、2019年7月18日（木）午前11：00開催予定。

以上